



がんばろう佐久穂

復興支援イベント



和泉元彌 (いずみもとや)

狂言和泉流二十世宗家

1974年生まれ。和泉流19世宗家和泉元秀の嫡男。修行は1歳半から始まり、4歳の時「靱猿」で初舞台。9歳で狂言最高の格式を持つ「三番叟」、以来「奈須與市語」「金岡」、史上最年少16歳で秘曲「釣狐」、20歳で大曲「花子」を抜き、20世宗家継承者成人披露を行う。21歳で宗家継承。

24歳で1子相伝「狸腹鼓」を真の型で初演。

近年は、和泉流の最奥秘曲「比丘貞」「枕物狂」を抜き新たな境地に。和泉流宗家の自主公演、世界遺産の伊勢神宮をはじめとした神社仏閣での奉納、自治体主催公演、学生の鑑賞教室、万博をはじめ海外公演など狂言の普及につとめる。

次代を担う和泉元聖、和泉和秀、和泉采明、和泉慶子をはじめ、後進の育成にもつとめている。

史上初女性狂言師 和泉淳子 (いずみじゅんこ)

和泉流宗家 筆頭控え家

1969年生まれ。和泉流19世宗家和泉元秀の長女。3歳で初舞台。以降公式公演に多数出演。昭和60年、大曲「三番叟」を抜く。昭和61年「奈須與市語」を抜く。平成元年、成人とともに国立能楽堂において「史上初女性狂言師誕生記念公演」を行う。同年、文部大臣より感謝状を受ける。平成6年「釣狐」を抜く。平成7年、NHK「ひるどき日本列島」キャスターとしてレギュラー出演。その他TVCM・ラジオなどで活躍。平成13年、女性狂言師協会設立、代表に就任。平成27年大曲「花子」を抜く。国際文化交流としての海外公演も14カ国、30都市に及ぶ。長男・和秀と長女・慶子も狂言師の道を歩む。



十世 三宅藤九郎 (じゅっせい みやけとうくろう)

和泉流19世宗家和泉元秀の次女。2歳半で初舞台。プロの登竜門である大曲「奈須與市語」を12歳、「三番叟」を14歳で抜き、15歳で祖父の人間国宝故・九世三宅藤九郎より指名を受け、名跡を継承。17歳で十世三宅藤九郎襲名披露公演を国立能楽堂でなす。同年、文部大臣より感謝状を受ける。

文化庁委嘱事業「伝統文化子ども教室」の指導や「三宅藤九郎の狂言授業」を全国の小中学校で開催し、小中学生のこころの教育にも精力的な活動を行っている。